

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する市長メッセージ

先月27日に、島田市内で6例目の新型コロナウイルス感染者の発生が公表されました。

先月下旬の「シルバーウィーク」や国の「GOTOトラベル」事業などに伴い、市民の皆様の外出機会が増え、市外からの人々との交流が増えたことに伴い、今後さらなる感染事例の発生も予想されるところです。最近の傾向として、家庭内感染や20代から40代の感染者が増えているのが特徴です。

10月1日以降、国外からの入国制限の部分的な緩和を含め、国内外での移動制限が徐々に緩和される動きとなっています。国や県のレベルでは、感染拡大の勢いは緊急事態宣言の頃から比べると弱まっているように見えますが、今後、季節性インフルエンザの流行期が控えており、特に重症化リスクの高い高齢者の方々の不安などを考えると、決して油断はできません。

コロナウイルスは人を選びません。多かれ少なかれ誰でもが感染のリスクにさらされています。今後、社会経済情勢を回復基調に乗せていくためにも、私たち一人ひとりが、「コロナウイルスに感染させない、感染しない、そしてコロナウイルスを持ち込まない」ための精一杯の努力を続けていく必要があります。

島田市は、8月31日に「新型コロナウイルス感染症対処方針」を改定

しました。この改定した方針においては、リスクの高い方々の感染予防と重症化リスクの軽減を重視して、感染拡大を防止するとともに、社会経済情勢の回復とコロナ後の新しい生活や事業者の経営基盤の強化に向けた取組みを充実する方針を打ち出しました。

昨今の新型コロナ感染症対策を取り巻く環境の変化を踏まえ、市民の皆様に次の4点を呼びかけたいと思います。

まず、一つ目は、県が示す移動制限地域との交流については、感染予防に十分に配慮するとともに、マスク・手洗い・消毒などの徹底により家庭内や職場内での感染予防に努めることです。特に、高齢者や呼吸器系疾患・糖尿病・高血圧などの持病を抱えておられる方々への感染防止には、特段の注意を払って頂きたいと思います。

二つ目は、医療機関や高齢者社会福祉施設内での感染者発生を防止するための市民あがての協力です。医療・社会福祉体制は、新型コロナウイルスに係わらず私たちの生活にとって絶対に維持しなければならないものです。市民病院や社会福祉施設での面会制限、施設利用時の消毒等、ウイルスを持ち込まない対策の徹底に是非ともご理解とご協力をお願いします。

三つ目は、社会経済情勢を回復させるための協力です。先日実施した「島田エール商品券」の発行に引き続き、「LINEクーポン」の配信を行っています。更なる市内の商店や事業所でのこれらの利用や地産地消の取組みに積極的なご協力をお願い致します。

また、健康を維持し、持病を悪化させないためにも、地域のかかりつけのお医者さんでの受診や定期健診は、しっかりと受けて頂きたいと思います。

さらには、地域の見守り、防災・健康増進活動や地域限定の行事などは、3密回避などの感染予防措置をとり、やり方を工夫したうえで、是非とも続けるよう努めてください。

4つ目は、感染者やその関係者、医療従事者に対する差別・偏見、誹謗・中傷の類(たぐい)は、一切慎んで頂きたいということです。歴史的には、大井川の恵みを受けながら、みんなで力を合わせて大井川の洪水や数々の自然災害にも打ち勝ち、今の繁栄を築いてきたのが島田市です。困ったときこそ助け合うのが、島田市ならではの“コミュニティの強さの証(あかし)”です。

新型コロナウイルスとうまく付き合う知恵を私たち全員が共有し、私たちの暮らしを守るため、この難局を共に乗り切ってまいりましょう。

令和2年10月5日

島田市長 染谷 絹代